

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 20 年 3 月 21 日 (2008.3.21)

【公開番号】特開 2004-79526 (P2004-79526A)

【公開日】平成 16 年 3 月 11 日 (2004.3.11)

【年通号数】公開・登録公報 2004-010

【出願番号】特願 2003-282797 (P2003-282797)

【国際特許分類】

H 0 1 J 9/02 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 9/02 E

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 1 月 11 日 (2008.1.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板上に設けられた電極と、前記電極に接続された、電子放出部を有する導電性薄膜とを備える電子放出素子の製造方法であって、電極が設けられた基板を、分子中にアセトキシ基を 2 個以上含有するシランカップリング剤を用いて疎水化处理した後に、前記導電性薄膜を形成するための材料を含有する液滴を前記電極上に付与することを特徴とする電子放出素子の製造方法。

【請求項 2】

前記シランカップリング剤がジアセトキシジメチルシランであることを特徴とする請求項 1 に記載の電子放出素子の製造方法。

【請求項 3】

基板上に設けられた電極と、前記電極に接続された、電子放出部を有する導電性薄膜とを備える電子放出素子の製造方法であって、電極が設けられた基板を、加水分解基の異なる 2 種以上のシランカップリング剤の混合物を用いて疎水化处理した後に、前記導電性薄膜を形成するための材料を含有する液滴を前記電極上に付与することを特徴とする電子放出素子の製造方法。

【請求項 4】

前記 2 種以上のシランカップリング剤のうちの一つが、分子中にアセトキシ基を 2 個以上含有するシランカップリング剤であることを特徴とする請求項 3 に記載の電子放出素子の製造方法。

【請求項 5】

前記分子中にアセトキシ基を 2 個以上含有するシランカップリング剤が、ジアセトキシジメチルシランであることを特徴とする請求項 4 に記載の電子放出素子の製造方法。

【請求項 6】

前記 2 種以上のシランカップリング剤のうちの一つが、分子中にアセトキシ基を有し、他の一つが、分子中にエトキシ基を有することを特徴とする請求項 4 又は 5 に記載の電子放出素子の製造方法。

【請求項 7】

前記液滴の付与は、インクジェット方式により行われることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれかに記載の電子放出素子の製造方法。

【請求項 8】

分子中にアセトキシ基を 2 個以上含有するシランカップリング剤を用いて疎水化处理された基板上に、画像表示部材を形成するための材料を含有する液滴をインクジェット法により付与する工程を有することを特徴とする画像表示装置の製造方法。

【請求項 9】

加水分解基の異なる 2 種以上のシランカップリング剤の混合物を用いて疎水化处理された基板上に、画像表示部材を形成するための材料を含有する液滴をインクジェット法により付与する工程を有することを特徴とする画像表示装置の製造方法。